

# 仕様伺書

対象形式：JPA2

お客様記入		弊社記入		営業部門	
形 式		JOB No.		承認	作成
貴 社 名		機 番	—		
お 名 前		営業担当			
注 番					

各設定項目に対して標準設定値から変更がある場合、設定可能範囲でご指定下さい。  
標準設定値とは、一切のご指定がない時の値です。

## ■変換器設定項目

項目名称	ご指定出荷時設定値	標準設定値	備 考										
入力の種類	<input type="checkbox"/> オープンコレクタ <input type="checkbox"/> 有接点スイッチ <input type="checkbox"/> 電圧パルス <input type="checkbox"/> 2線式電流パルス	オープンコレクタ	指定なき場合は、オープンコレクタとなります。										
入力パルス検出方法 (電圧パルス、2線式電流パルスのみ記入)	<input type="checkbox"/> 交流カップリング <input type="checkbox"/> 直流カップリング	直流カップリング	指定なき場合は、直流カップリングとなります。 交流カップリングは入力信号のオフセットが大きく検出レベル範囲不適合時に選択します。										
入力振幅 (電圧パルス、2線式電流パルスのみ記入)	Vp-p(mAp-p)	—	これらの数値は、入力信号波形を正確に把握するために必要なものです。電圧パルス、2線式電流パルスは通常検出レベルをDCオフセット値に設定します。										
DC オフセット値 (電圧パルス、2線式電流パルスのみ記入)	V(mA)	—	(オープンコレクタ、有接点スイッチ選択時は検出レベルが2V固定となります) 端子間最大入力電圧は50Vです。										
ノイズフィルタ	<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノイズフィルタ大は入力周波数レンジが0~1Hz以下で必ずご使用下さい。</li> <li>・ノイズフィルタ小は入力周波数レンジが0~10Hzから0~1kHzで必ずご使用下さい。</li> <li>・入力周波数レンジが0~10kHz以上ではノイズフィルタはご使用できません。</li> </ul>										
入力ゼロ周波数 fz ( $0 \leq fz < fs$ )	Hz	0Hz	入力0%に相当する周波数を指定して下さい。 $0\text{Hz} \leq (\text{入力ゼロ周波数: fz}) < (\text{入力スパン周波数: fs})$ の範囲でご指定下さい。										
入力スパン周波数 fs ( $fz < fs \leq$ 入力周波数レンジの最大値)	Hz	1000Hz	入力100%に相当する周波数を指定して下さい。最小入力スパン周波数は、入力周波数レンジの10%以上となります。 $(\text{入力ゼロ周波数: fz}) < (\text{入力スパン周波数: fs}) \leq$ 入力周波数レンジの最大値の範囲でご指定下さい。										
ドロップアウト (-15.00~+115.00%)	%	-15.00%	-15~+115%の範囲でご指定下さい。 入力ゼロ、スパン周波数に対する%値で設定します。ドロップアウト時は、入力0Hz相当の値を出力します。入力ゼロ周波数を0Hzとした場合、ドロップアウト設定値0%以下は無効となります。										
ドロップアウトのヒステリシス (0.00~5.00%)	%	1.00%	0~5%の範囲でご指定下さい。 入力ゼロ、スパン周波数に対する%値で設定します。ヒステリシスを0%に設定した場合は無効となります。										
不均等パルスの平均化		1	入力パルスを一旦分周した後、逓倍することで不均等パルスを補正します。(出力の変動を抑える) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>入力ゼロ、スパン周波数の範囲</th> <th>設定可能範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0~100Hz 以下</td> <td>1~255</td> </tr> <tr> <td>0~1kHz</td> <td>1~25</td> </tr> <tr> <td>0~10kHz</td> <td>1~2</td> </tr> <tr> <td>0~100kHz</td> <td>設定不可 (固定)</td> </tr> </tbody> </table>	入力ゼロ、スパン周波数の範囲	設定可能範囲	0~100Hz 以下	1~255	0~1kHz	1~25	0~10kHz	1~2	0~100kHz	設定不可 (固定)
入力ゼロ、スパン周波数の範囲	設定可能範囲												
0~100Hz 以下	1~255												
0~1kHz	1~25												
0~10kHz	1~2												
0~100kHz	設定不可 (固定)												

項目名称	ご指定出荷時設定値	標準設定値	備考
警報モード	<input type="checkbox"/> 上限警報 <input type="checkbox"/> 下限警報 <input type="checkbox"/> 警報なし	上限警報	警報を使用する場合は、上限または下限警報を指定して下さい。
警報検出レベル (-15.00~+115.00%)	%	100.00%	警報を使用する場合は、-15~+115%の範囲でご指定下さい。
警報検出レベルの ヒステリシス (0.00~20.00%)	%	1.00%	警報を使用する場合は、0~20%の範囲でご指定下さい。
電源投入後 警報動作までの時間設定 (2.0~1000.0秒)	秒	3秒	電源投入後、警報が動作するまでの時間を設定します。 警報を使用する場合は、2.0~1000.0秒の範囲でご指定下さい。 指定なき場合は、3秒となります。

■出力リニアライズに関する項目（リニアライズが必要な場合のみ〈記入例〉の様に記入して下さい。）

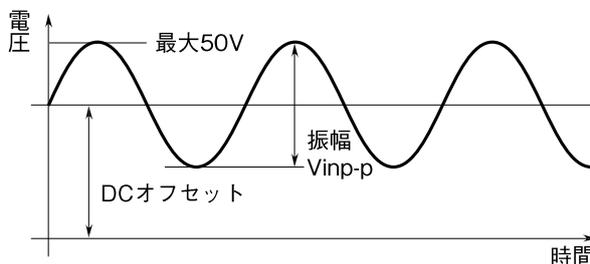
入力信号 ( )		出力信号 ( )		入力信号 ( )		出力信号 ( )	
X (01)		Y (01)		X (11)		Y (11)	
X (02)		Y (02)		X (12)		Y (12)	
X (03)		Y (03)		X (13)		Y (13)	
X (04)		Y (04)		X (14)		Y (14)	
X (05)		Y (05)		X (15)		Y (15)	
X (06)		Y (06)		X (16)		Y (16)	
X (07)		Y (07)					
X (08)		Y (08)					
X (09)		Y (09)					
X (10)		Y (10)					

(データは%でも可)

〈記入例〉

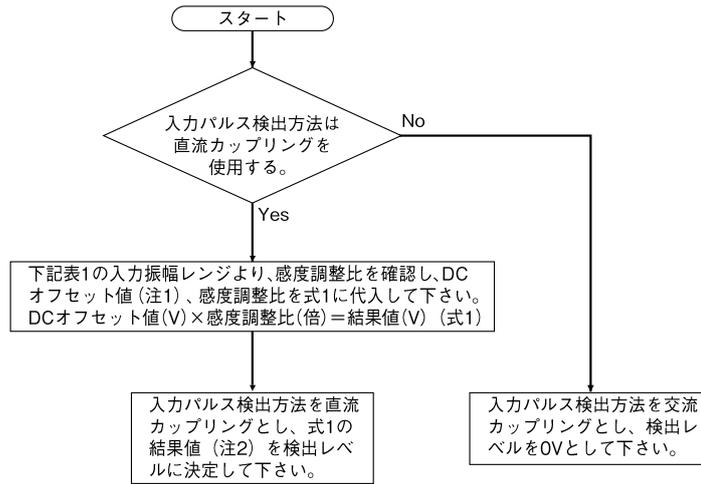
X (01)	0.00 (Hz)	Y (01)	4.00 (mA)	X (09)	80.00 (Hz)	Y (09)	17.58 (mA)
X (02)	10.00	Y (02)	6.37	X (10)	90.00	Y (10)	18.81
X (03)	20.00	Y (03)	8.42	X (11)	100.00	Y (11)	20.00
X (04)	30.00	Y (04)	10.25	X (12)		Y (12)	
X (05)	40.00	Y (05)	11.92	X (13)		Y (13)	
X (06)	50.00	Y (06)	13.47	X (14)		Y (14)	
X (07)	60.00	Y (07)	14.92	X (15)		Y (15)	
X (08)	70.00	Y (08)	16.28	X (16)		Y (16)	

■入力振幅、DCオフセット値について（下記は電圧パルスの場合）



■検出レベルの設定について（電圧パルス、2線式電流パルスのみ）

検出レベルを設定する際は、下記のフローチャートに従って設定して下さい。



注1、電流入力 (mA) の場合は1/10倍し、電圧値 (V) に換算します。

注2、小数点第2位以下は四捨五入します。

●表1

ロータリスイッチの設定番号	入力振幅レンジ (Vp-p)	感度調整比 (倍)
0	50 ~ 100	1/20
1	25 ~ 50	1/10
2	10 ~ 25	1/5
3	5 ~ 10	1/2
4	1 ~ 5	1/1
5	0.5 ~ 1	5
6	0.1 ~ 0.5	10
7	オープンコレクタ、有接点スイッチ、2線式電流パルス	1/1

入力振幅レンジ設定用ロータリスイッチを設定することにより、回路内部で入力振幅が感度調整されます。感度調整後の入力振幅を検出レベル電圧 (0~5V) で検出します。

カップリングを直流カップリングとした場合、感度調整後の入力信号Hレベル電圧が検出レベルと同じか、それ以下の場合は動作しません (検出しません) のでご注意下さい。

●入力振幅レンジ、検出レベル設定例

・電圧入力の場合 (DCオフセット値は入力振幅/2とする。)

入力振幅 (Vp-p)	入力振幅レンジ (Vp-p)	検出レベル (V)
50	50 ~ 100	1.3
50	25 ~ 50	2.5
30	25 ~ 50	1.5
25	10 ~ 25	2.5
15	10 ~ 25	1.5
10	5 ~ 10	2.5
7.5	5 ~ 10	1.9
5	1 ~ 5	2.5
3.5	1 ~ 5	1.8
2	1 ~ 5	1
1	0.5 ~ 1	2.5
0.5	0.1 ~ 0.5	2.5

入力振幅が100Vp-pの電圧パルスを本器に入力する場合、DCオフセット値は0Vとして下さい。

・電流入力の場合 (DCオフセット値は入力振幅/2とする。)

入力振幅 (mA p-p)	入力振幅レンジ	検出レベル (V)
15 (1.5Vp-p)	オープンコレクタ、有接点スイッチ、2線式電流パルスに設定	0.8
25 (2.5Vp-p)	オープンコレクタ、有接点スイッチ、2線式電流パルスに設定	1.3